

別紙 20 舞台音響設備に関する要求水準

1. センチュリーホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
音響調整卓	デジタル式 40 フェーダ アナログ系入力 32ch デジタル系ステレオ入力 8 ch 24bitAD/DA コンバーター、 CPU コントロール卓、信号処理架、 DSP 架	1 式	既設同等以上で更新。 デジタル 40ch 程度。
サブ卓	アナログ式、入力モノ 16ch、ステレオ 4ch	1 台	既設同等で更新。 デジタル 16ch 程度。
移動式音源卓	EIA19”キャスター付収納架×2 カセットデッキ×2、MD デッキ×2、 CD デッキ×1、CDR デッキ×2、メ ディアレコーダー×1、グラフィック イコライザ等	1 式	既設同等で更新。但し、メディアは一 般的に流通している現況を反映させ ること。カセットデッキ、MD は不要 とする。
入出力パッチ架	EIA19”収納架(H2050)×2 入出力パッチ盤 XLR 型 AD/DA コンバータ、エキサイタ、ノ イズゲート等	1 式	既設同等で更新。 入出力パッチは、更新した調整卓、周 辺機器、コネクタ盤等に整合させる こと。その他の既設収納機器の代替 品は提案による。
舞台袖機器	MD デッキ、CD デッキ、CDR デッ キ、メディアレコーダー、グラフィッ クイコライザ等	1 式	既設同等で更新。但し、メディアは一 般的に流通している現況を反映させ ること。カセットデッキ、MD は不要 とする。ラックマウント型デジタル ミキサーを備えるか、メイン調整卓 のリモート機能を持たせること。
周辺機器架	EIA19”収納架×2 リバーブ、ディレイ、コンプリミッ タ、ノイズゲート、オーラルエキサイ タ、開演ブザーユニット、場内音圧モ ニター等	1 式	既設同等で更新。
電力増幅架	A 600W+600W B 300W+300W C 150W+150W D 240W+240W E 120W+120W スピーカプロセッサ デジタルマルチイコライザ デジタ ルディレイライン PA モニター部 光変換架等	1 式	既設同等で更新。 EIA19 インチラック×6 本程度、プロ セッサ付パワーアンプ
プロセニアムスピーカ	ELECTRO VOICE 40° ×20° ファーフィールド 6 台 18 インチベースボックス 4 台 60° ×40° ハーフサイズ 3 台 18 インチベースハーフボックス 2 台	1 式	指向性を考慮して更新。 小型のラインアレイとサブウーハー で構成し、反射板設置時(プロセニア ム上部が上がった状態)でも、3 階席 まで届くようなシステムとすること。 採用するフルレンジの機種として

部位	既設仕様	数量	改修仕様
			は、下記程度とする。 JBL VT4887A Lacoustics KIVA
サイドスピーカ (上手、下手)	ELECTRO VOICE 60° × 40° ハーフサイズ 3 対 18 インチベースハーフボックス 3 対 ネットワーク式 90° × 40° 1 対	1 式	既設同等で更新。 上手、下手計 2 組、ラインアレイ 2 ウェイ程度、1 階席近傍から 3 階席までカバーする構成とすること。
モニタースピーカ	ラージスピーカ×2 スモールモニタースピーカ×2	1 式	既設同等で更新。 パワースピーカも可とする。
固定はね返りスピーカ	2 ウェイパフレ型 ：RAMSA A-300×2、EV SX-300×2	1 式	既設同等で更新。 2 ウェイ 1 ボックス型×4
ステージフロントスピーカ	同軸 2 ウェイスピーカ×6	1 式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用 A セット×1 対 ：EV3 ウェイ 1 ボックス+サブロー ステージ用 B セット×2 対 ：EV ミッドハイ+サブロー スタンドスピーカ×4 ：2 ウェイスタンド付 EV SX-300 フロアモニタースピーカ×4 ：EV SH1810 小型モニタースピーカ×3 ：BOSE101、2 台はアンプ付	1 式	既設同等で更新。 パワードも可とする。
運営系スピーカ	天井埋込型、フルレンジ	1 式	既設同等で更新。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウント型設置パネル×2 組	1 式	既設同等で更新。
3 点吊りマイク装置	電動式、リモコン付	1 式	既設同等で更新。 デジタル式、位置設定機能付
エレベータマイク装置	油圧式、上手、中央、下手の 3 基	1 式	既設使用とする。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 800MHzB 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	A 帯は既設同等で更新、B 帯は合計 6ch で更新とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×12 SHURE SM58-LCE×10 SHURE SM58SE(スイッチ付)×3 RAMSA WN-808OF×6 RAMSA WM-8000×4 BEYER M500TG×7 SENNHEISER MD421U×2 SENNHEISER MD441U×4 コンデンサーマイク AKG SE300B+CK91×5 組 AKG VR91×9 AKG CK98×4 AKG C414B×2 AKG C414ULS×1 SONY C-38B×7 SONY ECM-55S バウンダリーマイク	1 式	既設同等で更新し、合計 80 本を確保すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	CROWN PZM-30RG×4		
スタンド	高砂 MF-18M6×10 高砂 MF-18TM×9 高砂 MF-22TM×4 高砂 MF213×4 高砂 MS-28×10 高砂 MS-404×1 SUGIPURODUCTS DS-31M×3 AKG ST305×6 K&M ST210×13 K&M ST259×10	1 式	既設同等で更新。
ケーブル類	マルチケーブル 24ch マルチボックス×7 中継ボックス×3 ドラム巻(30m)×2 10m×6、1m×2 先バラ 11C×2、先バラ 12C×1 マルチケーブル 8ch マルチボックス×5 30m(ドラム巻)×2 30m×1、10m×2 5m×3、2m×2 先バラ 11C×1、先バラ 12C×1 マイクケーブル 20m×10、15m×1、10m×25 5m×13、短×4 11C-11C×2、12C-12C×2 (以上音響倉庫) 10m×1、1.5m×8、1m×1 110 号-11C×15 12C-2P×1 (以上音響機械室) スピーカケーブル 20m×2、10m×5、短×4(音響倉庫) 10m×2(ポータル上手下手) 30m×4(下手大臣) 立ち上げ×1(同上) 短×1(同上) 短×1(上手大臣) スピコン-XLR4×4 XLR4-XLR4×2 RCA ピンプラグケーブル W-W×3、S-S×2、S-2P×2 RCA×3-BNC+RCA×2 W-12C 変換×3、W-11C 変換×1 W-12CW 変換×1、W-1C 変換×1 RCA-12C(10m)×2(ホワイエ) BNC プラグケーブル 20m×1、10m×1 ミニプラグケーブル ステレオ-12C×3 ステレオ-RCA ピン×2	1 式	既設同等で更新。
その他	ダイレクトボックス×6	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	変換ボックス×11 パラボックス×3 パワーサプライ×1 カフボックス×3		
運営系 ITV 設備	回転台 ズームレンズ 電源部	1 式	既設同等で更新。 舞台暗視機能付
インカム装置	ベルトパック×12 リモーステーション×1 ヘッドセット片耳×6、両耳×2 インカムケーブル 20m×11、10m×14(音響倉庫) 20m×1、10m×1 (操作盤) 10m×2(調光室) 10m×6、5m×1(ピンルーム)	1 式	既設同等で更新。

2. イベントホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
音響調整卓	AD/DA : 24bit サンプリング周波数 48kHz AES/EBU : 8 イン 8 アウト 入力 : モノ 20ch + ステレオ 8ch	1 式	既設同等で更新。 デジタル 20ch 程度
サブ卓	サブ卓 1 : アナログ式、入力モノ 8ch、ステレオ 2ch サブ卓 2 : アナログ式、入力モノ 24ch	1 式	既設同等で更新。 デジタル 24ch 程度×1、 アナログ 12ch 程度×1
入出力パッチ架	音響卓用パッチ部、場内入出力パッチ部、音源用入出力パッチ部、ワイヤレス用パッチ部 : 各 XLR3P タイプ インカム親機 端子盤ユニット : 203R 端子 電源制御部 : 15A 電源連動×9 非連動×2 収納架 : EIA アルミダイキャスト 音源用接続盤 : 3 ステレオ録音、再生ボックス型 モニタースピーカー用電力増幅器 : 150W + 150W (8Ω) パッチケーブル : 11C-12C 1m、2m	1 式	既設同等で更新。
移動型簡易操作卓 1	デジタルミキサー : AD/DA 24bit サンプリング周波数 48kHz ワイヤレス受信、CD デッキ、カセットデッキ、MD デッキ、パワーアンプ	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。 事業期間中に経年劣化した周辺機器は適宜更新すること。
移動型簡易操作卓 2	アナログミキサー : 入力モノ 6ch + ステレオ 6ch カセットデッキ、CD デッキ、ワイヤレス受信器、パワーアンプ	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。 事業期間中に経年劣化した周辺機器は適宜更新すること。
出力架	EIA19" 収納架×6 (電源制御付) 出力架 1~2 : メインスピーカ用 200W×9、500W×9 出力架 3 : センタースピーカ用 300W + 300W×2、600W + 600W×5 出力架 4 : 運営系、コンセント用 300W + 300W×3、600W + 600W×2 出力架 5 : ウォールスピーカ用 スピーカプロセッサ×2 600W×4 出力架 6 : スピーカコントロール系 デジタルマルチプロセッサ×9 デジタルイコライザ×1	1 式	既設同等で更新。 マルチプロセッサ、パワーアンプ等は選定したスピーカに適したものとすること。 収納架の数は音響機械室内に納まる範囲で任意とする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	グラフィックイコライザ×1 ミキシングユニット、インサーショ ンパッチ部		
メインスピーカ	3 ウェイコンポーネント型 L,C,R 各 1 組 各アレイに舞台向きにはね返りスピー カ付	1 式	既設同等で更新。 小型のラインアレイ型が望ましい。
センタースピーカ	クラスター構成 南北下向きスピーカ×3 2 ウェイ定指向性 東西スピーカ×2 3 ウェイ定指向性 サブウーハー×2 12 インチ×2	1 式	既設同等で更新。 2 ウェイラインアレイ型で中央より 室全体をカバーすること。サブウー ハー×2 台程度
ウォールスピーカ	フルレンジアレイスピーカ×12 BOSE 502AW	1 式	既設同等で更新。
主催者控室スピーカ	2 ウェイバスレフ型（トランス内蔵） ×2	1 式	既設同等で更新。
調光室スピーカ	フルレンジスピーカ(小型アンプ付) ×1 : BOSE 101MM+1706 II	1 式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用 A×1 対 : MEYER UPJ-1P&650P ステージ用 B×4 : EV SH-1810 はね返りスピーカ×5 : RAMSA WS-9200A スタンドスピーカ×2 : RAMSA WS-A200(スタンド付)	1 式	既設同等で更新。 パワードも可とする。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウン ト型設置パネル×2 組	1 式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A 帯受信器 ハンド型×2、ピン型×2 800MHzB 帯受信器 ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とす る。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM58SE(スイッチ付)×10 RAMSA WN-D65×1	1 式	既設同等で更新。
スタンド	高砂 MF-18TM×2 高砂 MS-404×4 RAMSA WN-5100B×1 RAMSA WN-5120×2 RAMSA WN-5300×1 SONY A-12C×2 AKG ST305×2 K&M ST210×15 フレキシブル 長×3、短×2	1 式	卓上スタンド×8 フロアスタンド×8 ブームスタンド×8 を更新すること。
ケーブル類	マルチケーブル 24ch マルチボックス×2 中継ボックス×1 チャンネル変換ボックス×4 ドラム巻(30m)×2	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	10m×2 先バラ 11C×2、先バラ 12C×2 マルチケーブル 8ch マルチボックス（貫通）×2 マルチボックス（メス）×2 30m×1、10m×1 先バラ 11C×1、先バラ 12C×1 マイクケーブル等 （外倉庫） 11C-12C：30m×2、20m×3、 10m×3、7m×1、5m×4、3m×1、 2m×2、1.5m×8、1m×4 12C-12C(1m)×6 12C-2P(1m)×1 （第2 控室内ワゴン卓） 11C-12C(5m)×2、 12C-12C(1m)×3 11C-RCA(1m)2 又×1 （北西角ワゴン卓） 11C-12C(0.2m)×3 BNC-BNC(10m)×2 （センターステージ下） 11C-12C(10m)×2 （操作盤） 11C-12C(10m)×1 （クルー控室） ステレオミニ-RCA×2 又×1 （UPJ ボックス内） 11C-12C：立ち上げ×8 20m×3 12C-12C(20m)×2 スピーカケーブル （外倉庫）10m×2 （UPJ ボックス内） スピコン-平行×6 電源ケーブル （外倉庫） 30C-30C(10m)×3 30C-平行(2 又)×1 30C-平行(S)×1 平行延長×3 （UPJ ボックス内） 30C-平行×1 30C-平行 2 又×1 30C-平行 3 又×2 ツイスト-平行(短)×2 ツイスト-平行(長)		
インカム装置	ベルトバック×5 SP ステーション×1 ヘッドセット片耳×6、 パラボックス×2	1 式	既設同等で更新。

3. 白鳥ホール

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
音響調整卓 (メイン、サブ)	デジタル式 AD/DA 24bit サンプリング周波数 48kHz 入力：20 モノ、6 ステレオ 出力：16 ミックス、8 マトリクス	2 台	既設同等で更新。
音響機器収納架	EIA19"収納架×2 音声入力パッチ部 ワイヤレス受信器、アンテナ混合分配器組込	1 式	既設同等で更新。
周辺機器卓	CD プレーヤ、カセットデッキ リバーブ等	1 式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。
ワゴン卓 1	デジタルミキサー 入力 12 出力：8 プロセッサ内蔵型 MD レコーダー CD プレーヤ ダブルカセットデッキ DVD レコーダー パッチ部	2 組	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD は不要とする。
音響アンプ架	4ch パワーアンプ×8 2ch パワーアンプ×1 ハイインピーダンスアンプ×1 デジタルマルチプロセッサ×10 デジタルマルチイコライザー×2 グラフィックイコライザー×6 パターンコントローラー×1 入力マトリックス部 CPU コントローラ制御部×1 同時通訳パッチ部×1 インサージョンパッチ×3 出力制御部×3 電源制御ユニット×5 端子盤ユニット×3 EIA19"機器収納架×3	1 式	既設同等で更新。 パワーアンプはプロセッサ内蔵型も可とする。
入出力パッチ架	ワイヤレス混合分配器×2 ワイヤレス受信機×4 舞台 IN・OUT パッチ部×1 卓 IN・OUT パッチ部×1 インカムパワーサブライ×1 主電源ユニット×1 端子盤ユニ×1 ット 機器収納架×1	1 式	既設同等で更新。
スピーカ類	天井埋込スピーカ×32 ：2 ウェイフルレンジ はね返り・ロビースピーカー×4 ：2 ウェイフルレンジ	1 式	既設同等で更新。
移動用スピーカ	ステージ用×1 対 ：MEYER UPJ-1P&500HP はね返りスピーカ×5	1 式	既設同等で更新。 パワードも可とする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	: RAMSA WS-9200A スタンドスピーカ A×3 : EV SX-200(スタンド付) スタンドスピーカ B×4 : EV SX-300(スタンド付) スタンドスピーカ C×2 : RAMSA WS-A200(スタンド付) フロアモニタースピーカ×4 : RAMSA WS-9200A ポータブルアンプ×1		
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウント型設置パネル×4 組	1 式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	1.2GHz A 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 800MHzB 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×10 SHURE SM58-LCE×19 SHURE SM58SE(スイッチ付)×2 RAMSA WM-8000×3 コンデンサーマイク AKG VR91×2	1 式	既設同等で更新。
マイクスタンド	高砂 MF-18TM×8 高砂 MS-28×8 NATIONAL WN-430×6 NATIONAL WN-172×6 SUGIPRODUCTS DS-31M×8 SUGIPRODUCTS 卓上ストレー ト×4 AKG ST305×9 K&M ST210×10 K&M ST259×2	1 式	既設同等で更新。
ケーブル類	マルチケーブル 8ch マルチボックス (貫通) ×7 マルチボックス (メス) ×2 30m ドラム×1、10m×4 5m×2 マイクケーブル等 (倉庫) 11C-12C : 20m×28、10m×20 5m×11 12C-12C×6、11C-11C×6 2P-2P×3、12C-RCA×3 (アンプルーム) 11C-12C : 立ち上げ×35 11C-11C×14、12C-12C×8 2P-2P×7、11C-2P×13 12C-2P×14 12C-RCA×4、11C-RCA×3 (UPJ ボックス内) 11C-12C : 20m×3、立ち上げ×6	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	(クルー控室) ステレオミニ-RCA2 又×5 11C-ステレオミニ×3 スピーカケーブル (UPJ ボックス内) スピコン-平行×6 電源ケーブル (UPJ ボックス内) 30C-平行(2 又)×4		
その他	ダイレクトボックス×2 変換ボックス×1 パラボックス×5 カフボックス×4	1 式	既設同等で更新。
インカム装置	ベルトパック×10 リモーステーション×5 ヘッドセット片耳×12、両耳×5 ハンドマイク×5	1 式	既設同等で更新。
AV コンセント盤	8ch マルチコネクタ×1 XLR3×8、インカムコンセント スピーカコンセント	6 面	既設同等で更新。
会議ユニット接続盤	資料提示卓接続コネクタ インカムコンセント	2 面	既設同等で更新。

4. 国際会議室

原則としてほとんどの音響映像機器を初期整備で更新するが、事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
音響調整卓	アナログ式 入力：12モノ、4ステレオ 出力：4グループ、6AUX、16マトリクス	1式	入力は20ch程度で更新すること。
機器収納架1	EIA19"収納架×4 音声入力パッチ部 デジタルマルチプロセッサ、GEQ パワーアンプA 100W+100W 同B 350W+350W 同C 120W+120W ワイヤレス混合分配器 ワイヤレス受信機 出力パッチ、電源制御部	1式	既設同等以上で更新。 新設するスピーカ構成に見合った出力とすること。
光伝送装置収納架 機器収納架2	EIA19"収納架×7 HDモニターTV、HD映像分配器 映像入力パッチ部、BSチューナー コンバータ、変調器、VTR スイッチャー、LDプレーヤ 光伝送装置(映像、音声) 電源制御部	1式	光伝送装置は撤去。 映像に関する機能は提案による。
周辺機器卓	EIA19"収納架(H=750) カセットデッキ、CDプレーヤ VTR、GEQ	1式	既設同等で更新。 但し、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、VTRは不要とする。
ワゴン卓	アナログミキサー 入力モノ6ch+ステレオ6ch カセットデッキ CDプレーヤ、VTR(取り外し済み) 照明リモコン操作パネル 吊物等操作パネル ダイノックシート貼キャスター付収納卓	1式	既設同等で更新。 但し、ミキサーはデジタル型とし、メディアは一般的に流通している現況を反映させること。カセットデッキ、MD、VTRは不要とする。 照明リモコン操作パネルは舞台照明工事参照 吊物等操作パネルは舞台機構工事参照
メインスピーカ	2ウェイバスレフ型×2	1式	既設同等で更新。 会議場全体をカバーできるように設置すること。
はね返りスピーカ	移動式フロアモニター型 2ウェイ×2	1式	既設同等で更新。 固定式とすることも可とする。
モニタースピーカ	2ウェイブックシェルフ型×2 天井吊金具共	1式	既設同等で更新。 パワードも可とする。 バトン型の天井吊金具にクランプして位置、向きを適宜変えられること。
天井スピーカ	12cmフルレンジバスレフ型×20 マッチングトランス付	1式	既設同等で更新。 会議場全体をカバーするスピーカを前面に設ける場合は、省略も可とする。
天井スピーカ(運営系)	12cmフルレンジ×15 マッチングトランス付	1式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
移動用スピーカ	スタンドスピーカ : RAMSA WS-A200(スタンド付)×2 小型モニタースピーカ : BOSE 101MM(アンプ付)×1	1 式	既設同等で更新。
エアモニターマイク	ショットガン方式、ショックマウン ト型設置パネル×2 組	1 式	既設同等で更新。
マイクロホン	ダイナミックマイク SHURE SM57-LCE×10 SHURE SM58-LCE×10 SHURE SM58SE(スイッチ付)×2 RAMSA WM-8000×6 コンデンサーマイク RAMSA WM-C30×1	1 式	既設同等で更新。
ワイヤレスマイク	800MHzB 帯受信器 4ch ハンド型×4、ピン型×4 各アンテナ共	1 式	既設同等で更新。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とす る。
マイクスタンド	高砂 MF-22TM×6 高砂 MS-28×6 SUGIPRODUCTS DS-31M×4 AKG ST305×2 K&M ST210×10	1 式	既設同等で更新。
マイクケーブル	マルチケーブル 8ch マルチボックス (貫通) ×4 10m×2 マイクケーブル等 (倉庫) 11C-12C : 20m×20、10m×17 (アンプルーム) 11C-12C : 立ち上げ×44 11C-11C×14、12C-12C×8 RCA キヤノン 2 又×6 RCA-RCA×1 11C-2P×2、12C-2P×2 11C-3P×4、12C-3P×3 12C-RCA×5、11C-RCA×4 (調整室) 12C-12C×1、11C-11C×1 11C-12C : 7、11C-RCA×2 12C-RCA×1 ステレオミニ-RCA×1 12C-ステレオミニ×1 スピーカケーブル (倉庫)10m×4	1 式	既設同等で更新。
コンセント	AV コンセント盤×2 マイクコンセント×4 スピーカコンセント×2	1 式	既設同等で更新。
その他	トランスボックス×1 カフボックス×5 パラボックス×1	1 式	既設同等で更新。
インカム装置	ベルトパック×3 ヘッドセット(片耳)×3 インカムコネクタ、ケーブル共	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	(親機は機器収納架組込)		
HD ビデオプロジェクター	6 管式高輝度プロジェクタ×2 反射ミラー×2 (ハイビジョン制御室)	1 式	撤去。

5. レセプションホール

事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
機器ラック 1 (第 1 調整室)	EIA19"収納架×1 PLL ワイヤレス受信機 ダイバシティワイヤレス混合分配器 デジタルプロセッサ ミキシングユニット パターンリモコン ダブルカセットデッキ CD プレーヤ モニタースピーカ 4 チャンネルパワーアンプ 入出力パッチ部 電源制御ユニット 出力制御部	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
音響調整卓 (第 1 調整室)	アナログ式 入力：10 マイク、4 ライン、3AUX 16MIX、4 グループ 出力：1 ステレオ、4 グループ、4AUX、 1REC、1 モニター	1 式	既設同等で更新。
機器ラック 2 (第 2 調整室)	EIA19"収納架×1 コンパクトミキサ入力 8ch ダブルカセットデッキ CD プレーヤ モニタースピーカ(パワーD) 入出力パッチ部 電源制御ユニット 出力制御部	1 式	既設同等で更新。 但し、コンパクトミキサは入力 12ch 程度とする。 また、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
場内操作ワゴン	EIA19"キャスター付収納ワゴン コンパクトミキサ ダブルカセットデッキ CD プレーヤ 電源制御ユニット 接続パネル	2 組	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
天井埋込スピーカ	2 ウェイバスレフ型×12 20cm ウーハー＋ホーンツイータ	1 式	配管配線とも既設のままとする。 (2008 年更新)
ジャック盤 A (第 1 調整室)	XLR3P×32、NK27×2	1 面	配管配線とも既設のままとする。 (2008 年更新)←要確認
ジャック盤 B (第 2 調整室)	XLR3P×16、NK27×2	1 面	配管配線とも既設のままとする。 (2008 年更新)←要確認
コンセント類	8ch マルチコンセント×4 8ch マルチボックス×4 マイクコンセント×8	1 式	既設同等で更新。
有線マイクロホン	ダイナミック型カーディオイド ×14	1 式	既設同等で更新。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
ワイヤレスマイク	800MHzB 帯ハンド型×4 800MHzB 帯タイピン型×6 充電器セット×2	1 式	既設同等で更新。 但し、タイピン型は3本とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
マイクスタンド	卓上スタンド×12 フロアスタンド×10	1 式	既設同等で更新。
ケーブル	マイクケーブル 5m×12、10m×12、15m×12、20m×6 8ch マルチケーブル×6 立ち上げケーブル 0.5m×56、1.5m×10、2m×4、3m×10 変換ケーブル キャノン オス・オス×5、メス・オス×4 キャノンオスーRCA ステレオ×1 キャノンオスーST 標準プラグ×4 キャノンメスーST 標準プラグ×8	1 式	既設同等で更新。

6. 諸会議室

事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
1 号館 3F 131+132、133+134 会議室 機器	操作ワゴン×2 天井埋込スピーカー×8 ジャック盤 C×1 (131) ジャック盤 D×1 (134) サブミキサ×2 マルチコンセント×1 マルチボックス×1 マイクコンセント×7 C 帯ワイヤレスマイクハンド×2 C 帯ワイヤレスマイクタイピン×2 B 帯ワイヤレスマイクハンド×4 B 帯ワイヤレスマイクタイピン×4 ワイヤレスアンテナ×4 有線マイク×14 スタンド 卓上×12、フロア×10 8ch マルチケーブル(10m)×1 マイクケーブル (5m×6、10m×15、15m×13、20m×2) パッチケーブル(2m)×24 変換ケーブル各種×22	1 式	天井埋込スピーカ、ジャック盤 C、D(配管配線共 2008 年更新)を除き、既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
1 号館 3F 135 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
1 号館 4F 141+142 会議室 機器	操作ワゴン×2 天井埋込スピーカー×8 ジャック盤 C×1 (141) ジャック盤 D×1 (142) サブミキサ×2 マルチコンセント×1	1 式	天井埋込スピーカ、ジャック盤 C、D(配管配線共 2008 年更新)を除き、既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	マルチボックス×1 マイクコンセント×7 ワイヤレスマイクハンド×4 ワイヤレスマイクタイピン×4 ワイヤレスアンテナ×4 有線マイク×10 マイクスタンド 卓上×12、フロア×10 8ch マルチケーブル(10m)×2 マイクケーブル (5m×5、10m×15、15m×7、20m×3) パッチケーブル(2m)×22 変換ケーブル各種×15		スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
1号館 4F 143 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
2号館 1F 211～212 展示室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×3 ワゴン卓接続パネル×4 天井スピーカ×14 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz 受信機×4ch ハンドマイク×4 ピンマイク×4 アンテナ×4 ダイナミックマイク×14 マイクスタンド 卓上×8、フロア×8、ポール×8	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。
2号館 1F 213 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
2号館 2F 221 会議室 機器	ワゴンアンプ×1 ワゴンアンプ接続盤×1 天井スピーカ×4 マイクコンセント×3 ダイナミックマイク×5 ワイヤレスマイク C 帯 300MHz 受信機×2 ハンドマイク×2 ピンマイク×2 マイクスタンド 卓上×4、フロア×2、ポール×4 マイクケーブル各種×11 変換ケーブル各種×4	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。カセットは不要とする。
2号館 2F 222～223 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×8 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用とする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	マイクスタンド 卓上×8、フロア×4。ポール×8 マイクケーブル各種×20 変換ケーブル各種×14		
2号館 2F 224 会議室 機器	機器収納架×1 機器収納卓×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×9、フロア×6。ポール×9 ポータブルアンプ×2 マイクケーブル各種×23 8ch マルチケーブル×2 変換ケーブル各種×16	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
2号館 2F 225 会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
2号館 3F 231 会議室 機器	ワゴンアンプ×1 ワゴンアンプ接続盤×1 天井スピーカ×4 マイクコンセント×3 ダイナミックマイク×5 ワイヤレスマイク C 帯 300MHz 受信機×2 ハンドマイク×2 ピンマイク×2 マイクスタンド 卓上×4、フロア×2、ポール×4 マイクケーブル各種×11 変換ケーブル各種×4	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。
2号館 3F 232～233 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×8 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×8、フロア×4。ポール×8 マイクケーブル各種×23 変換ケーブル各種×14	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
2号館 3F 234 会議室 機器	機器収納架×1 機器収納卓×1 ワゴン卓×2	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に普及しているものとする。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
	ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×3 ダイナミックマイク×12 マイクスタンド 卓上×8、フロア×5。ポール×8 ポータブルアンプ×1 マイクケーブル各種×24 変換ケーブル各種×15		カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
4 号館 3F 431～432 会議室 機器	機器収納架×1 ワゴン卓×2 ワゴン卓接続パネル×2 天井スピーカ×10 マイクコンセント×4 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz アンテナ×4 ハンドマイク×4 ピンマイク×4 ダイナミックマイク×14 マイクスタンド 卓上×8、フロア×4 マイクケーブル各種×17 8ch マルチケーブル×1 変換ケーブル各種×14	1 式	既設同等で更新。 但し、記録再生メディアは一般的に 普及しているものとする。 カセットは不要とする。 スプリアス規定により更新済みの 800MHzB 帯送信機は、既設流用とする。
4 号館 3F 433 会議室 機器 (434 会議室も兼用)	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
4 号館 3F 435 会議室 機器 (436,~437 会議室も兼用)	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	1 式	既設のままとする。(2019 年更新)
4 号館 3F 438 会議室 機器	なし	1 式	既設では倉庫として使用しているが、会議室として貸し出せるように整備すること。(条例の変更については市と協議を行う。) 音響システムは 221 会議室と同程度のスタンドアローン型とする。
その他の予備機器 2 号館 2F、3F 事務所	ダイナミックマイク×15 ワイヤレスマイク B 帯 800MHz ハンドマイク×3 ピンマイク×5 ワイヤレスマイク C 帯 300MHz ハンドマイク×9 ピンマイク×8 受信機×8 マイクスタンド 卓上×11 辺間ケーブル各種×41	1 式	既設でまだ新しいものについては、予備として残置する。 古いものについては更新し、予備の機器全体として全館の音響機器の急な不具合に備えること。

7. 映像機器

基本方針として、センチュリーホールとイベントホールは常設もしくは貸し出し用のプロジェクターを設けずに、利用者の持込とする。その他の白鳥ホール、国際会議室、レセプションホール、展示室、諸会議室では、仮設して使える移動型のプロジェクターを備えること。事業期間中に不具合の発生した機器は、適宜修繕もしくは更新すること。

部位	既設仕様	数量	改修仕様
プロジェクター	DLP8200lm(Panasonic PT-DX810)×1 DLP8200lm(Panasonic PT-DX820)×1 DLP4500lm(三菱 LVP-XD3200)×9 DLP6500lm(Panasonic PT-DX610S) ×1 DLP8200lm(Panasonic PT-DX820JLB) ×2 液晶 12000lm(SANYO LP-XF1000)×1 液晶 5200lm(SANYO LP-X31)×1 液晶 5000lm(SANYO LP-XP56)×1 液晶 4500lm(SANYO LP-XP55)×1 液晶 4200lm(NEC MT1075J)×3 液晶 3300lm(SANYO LP-XP41)×2 液晶 3000lm(SANYO LP-XG3000)×1 タラリア×1	1 式	DLP の全て及び液晶 12000lm を既設同等で更新。タラリアは廃棄、その他は既設のまま残置とする。 但し、同等の大きさであれば光束数(1m)は多い方が望ましい。 貸し出しを想定した室に合わせたレンズを備えること。 色の再現性を重視し、液晶よりもDLPを優先すること。 更新するプロジェクターで比較的新しいものは、予備として残置する。
プロジェクター用ケーブル	アナログ RGB 用 VGA ケーブル (諸会議室) 1.5m×2、2m×16、10m×27 (白鳥ホール、国際会議室) 1.5m×1、2m×4、3m×1、5m×1 10m×3 アナログ RGBHV 用 5BNC-5BNC 50m ドラム×2、30m ドラム×2 5m×2、3m×1、1m×1 デジタル HDMI 用 15m×14	1 式	既設同等で更新。 但し、今後の接続機器の出力傾向と利用頻度に合わせ、デジタル HDMI 用を適宜増やす事。
スクリーン	吊下式スクリーン 5.1m×3.8m(250 インチ)×2 ロール式スクリーン 6.9m×6.2m×2 組立式スクリーン 6.1m×4.6m(300 インチ)×2 3.6m×2.9m(185 インチ)×1 2.9m×2.1m(140 インチ)×4 4.3m×3.2m(210 インチ)×4 4.3m×3.0m(200 インチ)×7 3.0m×2.1m(140 インチ)×8 3.05m×2.3m(150 インチ)×2 三脚式スクリーン 2.1m×2.1m(100 インチ)×41	1 式	既設同等で更新。但し原則としてアスペクト比は 16:10 とする。ロール式は幅一杯のホワイト部に対し、アスペクト比 4:3 の高さを持つこと。 (建築に固定の電動巻取式スクリーンは建築工事もしくは舞台設備工事を参照の事。)
録画機	VTR デッキ×14 ビデオプレーヤ×1 BNC-RCA ケーブル×18	1 式	撤去とする。(条例の変更について市と協議すること。)
テレビモニター	VDI(780×442)×17 VDI(750×422)×2 テレビ台(W1000×D650×H1200)×18 映像信号分配器×6 BNC ケーブル×32	1 式	撤去とする。(条例の変更について市と協議すること。)

	S 端子ケーブル×7		
--	------------	--	--